



## 2023年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年8月7日

上場会社名 新日本電工株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 5563 URL <https://www.nippondenko.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 青木 泰  
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員総務部長 (氏名) 田中 徹 TEL 03-6860-6800  
 四半期報告書提出予定日 2023年8月7日 配当支払開始予定日 2023年9月8日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有  
 四半期決算説明会開催の有無：有（証券アナリスト向け）

（百万円未満切捨て）

### 1. 2023年12月期第2四半期の連結業績（2023年1月1日～2023年6月30日）

#### （1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年12月期第2四半期	39,416	2.6	1,937	△67.1	1,099	△84.5	800	△85.6
2022年12月期第2四半期	38,433	24.2	5,894	48.7	7,114	166.4	5,557	202.5

（注）包括利益 2023年12月期第2四半期 213百万円（△96.6%） 2022年12月期第2四半期 6,203百万円（127.6%）

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年12月期第2四半期	5.81	—
2022年12月期第2四半期	37.84	—

#### （2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年12月期第2四半期	99,201	67,164	67.7
2022年12月期	104,943	69,225	65.9

（参考）自己資本 2023年12月期第2四半期 67,164百万円 2022年12月期 69,187百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年12月期	—	8.00	—	9.00	17.00
2023年12月期	—	3.00	—	—	—
2023年12月期（予想）	—	—	—	4.00	7.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2023年12月期の連結業績予想（2023年1月1日～2023年12月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	78,000	△1.7	2,500	△75.9	3,000	△62.3	21.78

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

詳細につきましては、本日発表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年12月期2Q	137,217,772株	2022年12月期	146,931,567株
② 期末自己株式数	2023年12月期2Q	2,194株	2022年12月期	7,092,135株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2023年12月期2Q	137,739,311株	2022年12月期2Q	146,857,956株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

2023年12月期の連結業績予想につきましては、現時点で得られた情報に基づき算定しており、多分に不確定要素を含んでおりますので、実際の業績は予想数値と大きく異なる場合があります。2023年12月期の連結業績予想に関する事項につきましては、添付資料の3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（2）連結業績予想に関する定性的情報」をご参照下さい。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(追加情報) .....	8
(セグメント情報等) .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

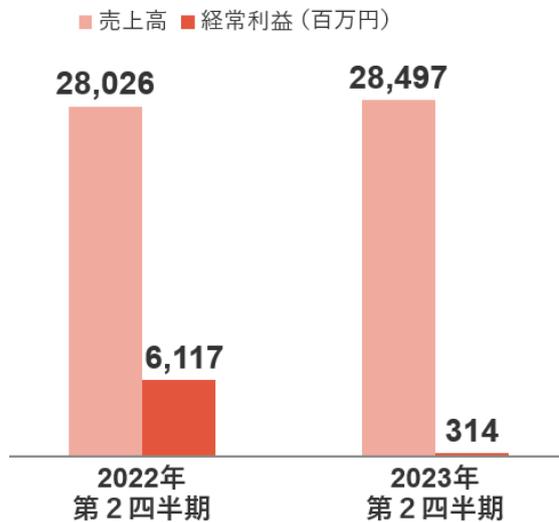
当第2四半期連結累計期間(2023年1月1日から2023年6月30日)における世界経済は、米国・欧州・中国等で前年同期比プラスの成長となりましたが、インフレ懸念の継続による欧米におけるさらなる金融引締め、ロックダウン解除からの景気加速が期待された中国の経済成長の下振れ、ロシアによるウクライナ侵攻の継続に伴うエネルギー価格の高止まりなどにより先行き景気の減速が懸念されています。

我が国の経済は、新型コロナウイルス感染対策の緩和を受けた経済活動の正常化に伴い、緩やかに持ち直しの動きが見られた一方でエネルギー価格や原材料価格の高騰は継続しており、国内製造業にとっては厳しい環境が続いています。

このような状況のなか、当第2四半期連結累計期間の売上高は、為替が円安傾向で推移したため39,416百万円(前年同期比2.6%増)となったものの、利益面においては、主力の合金鉄事業における国際市況の下落による影響が大きく、在庫影響などが減益要因となった結果、営業利益は1,937百万円(同67.1%減)、経常利益は1,099百万円(同84.5%減)となり、親会社株主に帰属する四半期純利益は800百万円(同85.6%減)となりました。

各事業の経営成績は、次のとおりです。

#### (合金鉄事業)



当第2四半期連結累計期間における世界の粗鋼生産量は、インドや中国では前年同期を上回ったものの、その他の国々においては下回ったことで9億4,390万トンとなり、前年同期と比べ1.1%減少しました。また、日本においては経済活動に緩やかな持ち直しの動きが見られたものの、建設関連の伸び悩みなどの影響により粗鋼生産量は4,383万トンと前年同期と比べ4.7%減少しました。

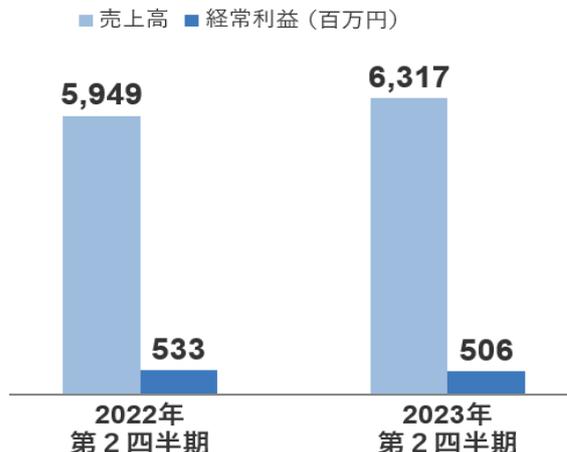
こうした状況のなか、主力製品である高炭素フェロマンガンの国際市況は、世界的な需給緩和基調が継続したことにより、前年同期と比べ大幅な安値で推移しました。一方、主原料のマンガン鉱石市況も安値で推移したものの、前年購入の高い原料価格が反映された期首在庫により主原料コストが押し上げられたことによる在庫影響や電力コストの上昇により製造原価は上昇しました。在庫影響を除いたコスト上昇については、コスト上昇のマイナスを上回る収益改善活動(価格

決定方式の変更等)を進めてまいりましたが、在庫影響によるマイナスを全てカバーするには至らず、前年同期に対して大幅な減益となりました。

また、海外持分法適用会社においても、製品市況下落の影響を受け持分法による投資損益は前年同期を下回りました。

以上の結果、合金鉄事業の売上高は28,497百万円(前年同期比1.7%増)、経常利益は314百万円(同94.9%減)となりました。

#### (機能材料事業)



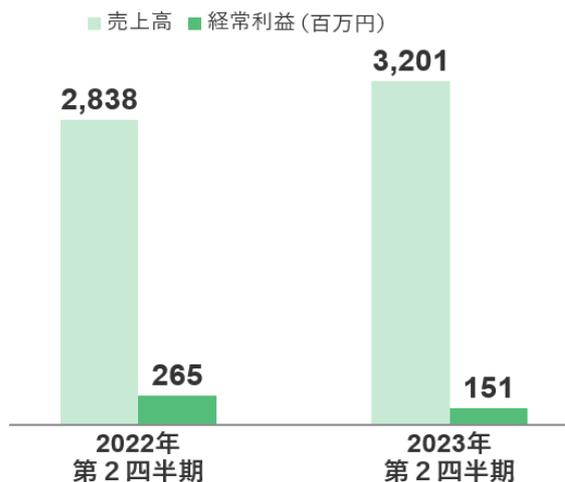
昨年11月に生産を再開したフェロボロンの販売は、当第2四半期より本格化し数量も順調に推移しました。また、水素吸蔵合金及びリチウムイオン電池正極材受託事業など車載用電池材料は、半導体不足の解消傾向により自動車生産が回復基調にあることから販売数量は前年同期を上回りました。

一方、酸化ジルコニウムは顧客の在庫調整による需要減少により販売数量は前年同期を下回りました。

また、高騰する電力価格については販売価格への転嫁を着実に進めてまいりました。

以上の結果、機能材料事業の売上高は6,317百万円(前年同期比6.2%増)、経常利益は506百万円(同5.0%減)となりました。

## （環境事業）

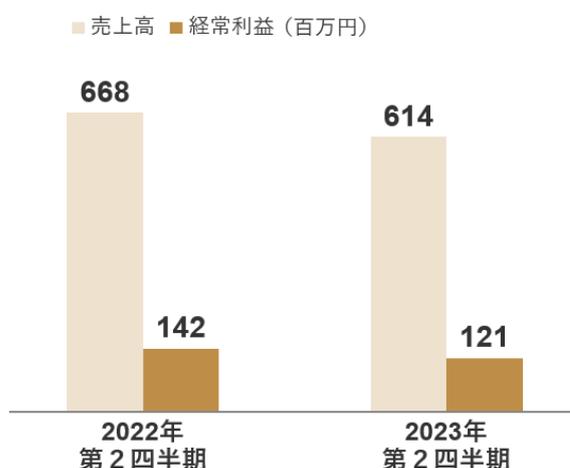


環境システム事業は、イオン交換樹脂塔の受注が堅調に推移しました。

中央電気工業（株）の焼却灰溶融炉(EM4)が昨年10月に稼働を開始したことにより処理量は前年同期を上回りました。一方、電力コストの価格転嫁については、昨年より価格の改定を進めていますが現時点では一部の改定にとどまっております。

以上の結果、環境事業の売上高は3,201百万円（前年同期比12.8%増）、経常利益は151百万円（同43.1%減）となりました。

## （電力事業）



電力事業は、再生可能エネルギー固定価格買取制度（FIT）を利用した売電事業として2カ所の水力発電所が順調に稼働しましたが、気象条件に恵まれた前年同期と比べると売電量は減少しました。

以上の結果、電力事業の売上高は614百万円（前年同期比8.1%減）、経常利益は121百万円（同15.1%減）となりました。

## （2）連結業績予想に関する定性的情報

2023年12月期の連結業績予想につきましては、2023年5月11日に発表しました「業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ」の内容を修正しました。

詳細につきましては、本日発表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照下さい。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	8,911	7,949
受取手形及び売掛金	11,720	9,728
商品及び製品	19,892	22,134
仕掛品	284	229
原材料及び貯蔵品	13,430	10,568
その他	2,716	2,560
貸倒引当金	△15	—
流動資産合計	56,940	53,171
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	6,027	6,103
機械装置及び運搬具(純額)	11,125	10,919
土地	5,298	5,298
リース資産(純額)	3,309	3,227
建設仮勘定	364	175
その他(純額)	285	318
有形固定資産合計	26,410	26,044
無形固定資産	164	279
投資その他の資産		
投資有価証券	14,327	12,723
長期貸付金	5,109	5,233
退職給付に係る資産	546	572
繰延税金資産	1,107	886
その他	337	290
投資その他の資産合計	21,428	19,706
固定資産合計	48,003	46,030
資産合計	104,943	99,201

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	7,621	5,020
短期借入金	8,000	3,000
1年内返済予定の長期借入金	2,558	3,528
リース債務	156	156
未払法人税等	819	774
賞与引当金	332	255
役員賞与引当金	70	17
設備関係支払手形	424	92
その他	4,945	4,065
流動負債合計	24,929	16,911
固定負債		
長期借入金	6,192	10,668
リース債務	4,144	4,095
繰延税金負債	5	—
その他	446	361
固定負債合計	10,789	15,125
負債合計	35,718	32,037
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	11,084	11,096
資本剰余金	21,439	17,450
利益剰余金	36,244	35,786
自己株式	△3,001	△0
株主資本合計	65,767	64,333
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,020	1,202
繰延ヘッジ損益	5	1
為替換算調整勘定	1,599	871
退職給付に係る調整累計額	794	756
その他の包括利益累計額合計	3,419	2,831
非支配株主持分	37	—
純資産合計	69,225	67,164
負債純資産合計	104,943	99,201

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年6月30日)
売上高	38,433	39,416
売上原価	29,305	34,126
売上総利益	9,128	5,290
販売費及び一般管理費	3,233	3,353
営業利益	5,894	1,937
営業外収益		
受取利息	72	103
受取配当金	110	78
持分法による投資利益	1,065	—
為替差益	331	164
その他	152	217
営業外収益合計	1,732	564
営業外費用		
支払利息	242	245
持分法による投資損失	—	853
固定資産除却損	157	212
その他	112	89
営業外費用合計	512	1,402
経常利益	7,114	1,099
特別利益		
投資有価証券売却益	146	564
特別利益合計	146	564
特別損失		
固定資産除却損	27	21
関係会社株式売却損	—	47
その他	—	1
特別損失合計	27	70
税金等調整前四半期純利益	7,233	1,593
法人税、住民税及び事業税	940	660
法人税等調整額	726	132
法人税等合計	1,667	793
四半期純利益	5,566	800
非支配株主に帰属する四半期純利益	9	0
親会社株主に帰属する四半期純利益	5,557	800

(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年6月30日)
四半期純利益	5,566	800
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△161	183
繰延ヘッジ損益	3	△4
退職給付に係る調整額	△13	△38
持分法適用会社に対する持分相当額	808	△728
その他の包括利益合計	637	△587
四半期包括利益	6,203	213
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	6,201	212
非支配株主に係る四半期包括利益	2	1

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(グループ通算制度を適用する場合の会計処理及び開示に関する取扱いの適用)

当社及び国内連結子会社は、第1四半期連結会計期間から、連結納税制度からグループ通算制度へ移行しております。これに伴い、法人税及び地方法人税並びに税効果会計の会計処理及び開示については、「グループ通算制度を適用する場合の会計処理及び開示に関する取扱い」(実務対応報告第42号 2021年8月12日。以下「実務対応報告第42号」という。)に従っております。また、実務対応報告第42号第32項(1)に基づき、実務対応報告第42号の適用に伴う会計方針の変更による影響はないものとみなしております。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 2022年1月1日 至 2022年6月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	合金鉄 事業	機能材 料事業	環境 事業	電力 事業	計				
売上高									
顧客との契約 から生じる収 益	28,026	5,949	2,838	668	37,482	951	38,433	—	38,433
外部顧客への 売上高	28,026	5,949	2,838	668	37,482	951	38,433	—	38,433
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	70	111	—	—	181	89	271	△271	—
計	28,096	6,060	2,838	668	37,663	1,041	38,704	△271	38,433
セグメント利益	6,117	533	265	142	7,059	55	7,114	—	7,114

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、主に化学品等販売事業、その他子会社事業となります。

2. セグメント利益の合計は、四半期連結損益計算書の経常利益と一致しております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

## II 当第2四半期連結累計期間(自 2023年1月1日 至 2023年6月30日)

## 1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	合金鉄 事業	機能材 料事業	環境 事業	電力 事業	計				
売上高									
顧客との契約 から生じる収 益	28,497	6,317	3,201	614	38,629	787	39,416	—	39,416
外部顧客への 売上高	28,497	6,317	3,201	614	38,629	787	39,416	—	39,416
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	44	46	—	—	90	50	141	△141	—
計	28,541	6,363	3,201	614	38,720	837	39,558	△141	39,416
セグメント利益	314	506	151	121	1,093	6	1,099	—	1,099

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、主にその他会社事業となります。

2. セグメント利益の合計は、四半期連結損益計算書の経常利益と一致しております。

## 2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。